

自然体験指導者養成事業

幼児期における自然体験活動指導者研修会

1 ねらい

保・幼・小の保育士や教員を目指す学生が、幼児期からの自然体験活動の意義を体験的に理解する中で、自らの資質向上を図る。富山大学・富山福祉短期大学と連携しながら、同時期に開催している幼児キャンプの参加者と直接かかわり合う機会を設け、幼児の自然体験活動推進のための研修を行う。

2 期日

平成29年10月13日(金)～15日(日) 2泊3日

<事前説明会>

平成29年 9月6日(水) 富山福祉短期大学

平成29年10月4日(水) 富山大学

3 対象

保・幼・小の保育士や教員を目指す
富山大学・富山福祉短期大学の学生

4 参加人数

77名(富山大学24名、富山福祉短期大学53名)

5 講師・スタッフ

金沢大学大学院教職実践研究科	教授	松本 謙一	先生
富山大学人間発達科学部	教授	小林 真	先生
富山大学人間発達科学部	准教授	若山 育代	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科	助教	岡野 宏宣	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科	助教	藤井 徳子	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科	講師	高見 泰子	先生
国立立山青少年自然の家	研修指導員	岩城 俊平	先生
国立立山青少年自然の家	職員		



6 後援

富山県教育委員会、富山県国公立幼稚園・こども園教育研究会
富山県私立幼稚園・認定こども園協会、富山県保育士会

7 日程

	午前	午後	夜
10月13日(金) 1日目			開講式 実習：アクティビティづくり
10月14日(土) 2日目	講義：幼児期における自然体験活動の意義・留意点等 実習：アクティビティづくり	実習：アクティビティづくり リハーサルⅠ・Ⅱ 実習：幼児の活動の様子を観察	実習：ビデオ視聴 実習：アクティビティづくり リハーサルⅢ
10月15日(日) 3日目	実習：アクティビティ実践	実習：ふり返り 閉講式	

8 参加者からの感想

- 他大学の学生と協力しながら、アクティビティの計画から準備、実践までを行い、よい刺激になりました。普段、自然の中で活動することがあまりないので、ここでしかできない自然体験を楽しむことができました。
- 直接子どもとかかわって実習ができたことは、貴重な経験となりました。自分たちで考えたことが、子どもたちの笑顔につながり、充実感を味わうことができました。今後の学習に生かしていきたいと思います。

9 成果

- 今回は、雨天のため館内でのアクティビティとなったが、各大学での事前説明会において、荒天時のことも想定し、自然物を活用したアクティビティとなるよう確認しておいたことにより、どのグループも自然物をふんだんに使った楽しいアクティビティとなった。どのグループにおいても、意欲的に参加する幼児の姿が見られた。

10 今後の課題

- この研修会は、今後指導者となる学生が、幼児に自然体験の楽しさを感じ取らせるためのものであるが、その学生自身が自然体験の楽しさを十分に知らないという実態が見られるようになってきた。今後は、まず学生自身が自然体験のよさ、大切さを十分に体感できるプログラムを組み込んでいく必要がある。